

株式会社エディオン 2021年3月期 第3四半期 決算補足資料



2021年02月02日

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けている皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

お客様、お取引先様、従業員とその家族の安全と感染拡大防止を最優先に

営業店舗の対応

- 従業員のマスク着用
- 出入口への消毒液設置
共用部の清掃強化
- 飛沫防止アクリル板
ビニールシート設置
- 配達時のマスク着用
設置後の清掃徹底
- セール、集客イベント等の
自粛



顧客訪問時の対応

- ご訪問時に「本日の体温」を
明記した名刺をお渡し
- 訪問時には白靴下着用
- 訪問、退出時に除菌清掃
- 一定の距離を保って作業

その他の対応

- 全従業員へ一時金支給
- テレワークの推進
- テレビ会議の活用
不要不急の出張禁止
- 時差出勤の励行
体温測定の徹底



感染症防止対策に
努めております

体調を毎日管理しております
本日の体温は / ℃です

ホームページからも
修理をご依頼
いただけます！
<https://www.edion.com>

配達工事のお問い合わせ先
エディオン サービスステーション
TEL: 0000-00-0000



●10月度は、秋雨前線の活性化により西日本で降水量が増加しマイナス要因となった。一方で、下期に入っても「巣ごもり需要」「テレワーク需要」等の需要は継続し、既存店受注売上の前年比は125.1%となった。前年は消費増税後の反動減があったため、前々年比でみると既存店受注売上は100.1%となっており好調であった。計画に対しては、買い替え需要の強いテレビ、換気・除菌機能など付加価値機能付きのエアコン、パソコン等が堅調で概ね計画通りとなった。

●11月度は、全国的に穏やかで平均気温が高く、降水量も少なく顕著な地域差もなかった。当社では例年11月に「会員特別ご招待セール」を行っていたが、今年度は密集を避けるため3回の分散開催とし、3回目が12月の開催となったため前年比でマイナス影響があった。こうした中でも既存店受注売上前年比は117.6%、前々年比は106.4%であった。計画に対しても、キャンペーンが奏功したテレビ、空調に関心の高いエアコンが牽引し、快適な住生活ニーズによりELS商品も回復基調に入ったことで、計画をクリアした。

●12月度は、北・西日本で気温が高く日本海側で大雪もあったが、天候面では概ね例年通りであった。全国的にボーナスが伸び悩んだ中でも「GoToトラベル」事業の中止や帰省の自粛要請などで「おうち時間」ニーズが高まり、既存店受注売上の前年比は、114.8%、前々年比は102.6%となった。計画に対しても、継続してテレビ、エアコンが好調で、白物家電も大型商品が伸長し、計画をクリアした。

●10～12月累計の既存店受注売上前年比は118.3%(前々年比103.5%)となった。なお、下期に入ってもエディオンネットショップが好調に推移しており、ネットショップを考慮した既存店受注売上前年比は、10月126.5%、11月119.7%、12月115.9%となっており、10～12月累計では、119.7%(前々年比104.8%)となっている。

百万円・%	2019年度 3Q			2020年度 3Q				4～12月	2020年度
	売上比	実績	前年比	売上比	実績	前年比	前年増減	計画差額※	通期計画
売上高	100.0	568,106	105.3	100.0	581,289	102.3	+13,183	+24,719	760,000
売上総利益	28.9	164,146	103.4	29.5	171,694	104.6	+7,547	+9,800	219,488
販売管理費	27.1	154,063	106.8	25.6	148,668	96.5	△5,395	△4,103	194,488
営業利益	1.8	10,083	69.5	4.0	23,026	228.4	+12,942	+13,904	25,000
経常利益	2.0	11,389	75.0	4.0	23,469	206.1	+12,079	+13,753	25,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.8	9,931	102.8	2.5	14,688	147.9	+4,757	+9,292	15,000

※計画差額: 上期期初計画差額+下期修正計画差額

●売上高

下期に入っても「テレワーク需要」「巣ごもり需要」などが継続しており、前年に消費税増税前の駆け込みの影響があった第2四半期のマイナス分を第3四半期で大きく挽回し、前年から131億円増加した。

計画比では、247億円のプラスとなった。

3Q末の受注残は105億円で、2Q末の148億円との差額42億円が3QのPOS売上にプラス影響となった。

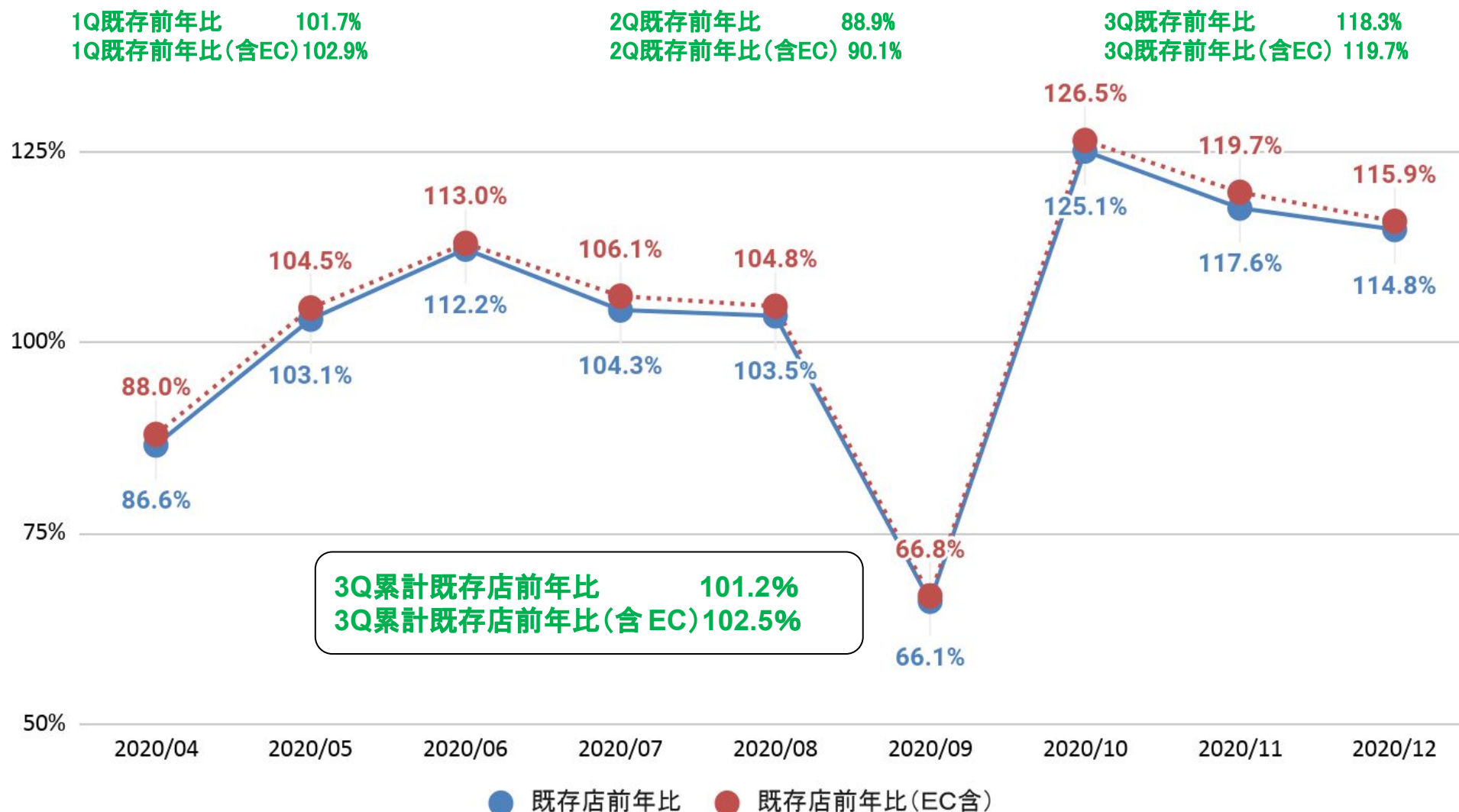
●売上総利益

売上の増加に伴い前年から75億円増加し、売上総利益率は29.5%で前年を大きく上回った。

●販売管理費

第3四半期で限定的なポイント施策を実施したが、継続して広告宣伝費等の抑制に努め、前年から54億円のマイナス。計画比では、売上増加に伴う変動費の増加があったが、時短営業による光熱費の減少や既存店の改装見直しなどによって41億円のマイナスとなった。

直営既存店 受注前年比 推移



商品別売上状況(POSベース)

直営店 主要商品 受注前年比 推移

(%)

商品名	上期累計 前年比	上期累計 前々年比	10月	11月	12月	10月～12月 前年比	10月～12月 前々年比	【参考】 計上ベース	10月～12月 前年比	10月～12月 前々年比
テレビ	104.6	142.2	135.6	140.2	137.2	137.9	120.1	テレビ	127.4	121.1
エアコン	97.6	99.6	151.9	119.4	116.8	124.6	83.2	エアコン	113.2	86.0
冷蔵庫	86.9	105.3	127.5	110.3	126.8	121.5	99.2	冷蔵庫	106.4	103.3
洗濯機	93.7	123.0	132.9	118.2	125.4	125.1	111.2	洗濯機・クリーナー	114.4	105.1
パソコン	104.2	142.2	134.6	81.6	71.7	85.7	104.0	パソコン	91.7	109.5
リフォーム	85.9	106.8	108.0	107.9	105.7	107.3	107.2	住宅設備	106.2	109.5
オール電化	91.7	115.9	119.0	115.4	130.0	121.6	115.4			

- テレビは、安定した買い替え需要と「おうち時間」の増加により大型パネルが伸長し好調に推移。
- エアコンは、空気清浄機能への関心の高まりもあって、高機能商品を中心に好調に推移。
- 冷蔵庫、洗濯機は、買い替え需要が顕在化し、大型及び高付加価値商品を中心に伸長。
- パソコンは、前年のWindows7サポート終了の反動があるものの「テレワーク需要」は継続し前々年比では104%
- リフォーム、オール電化は、「おうち時間」の増加に伴う快適な住環境ニーズが顕在化し、回復基調に入った。

商品別売上状況(POSベース)

直営店 その他商品 受注前年比 推移

(%)

商品名	上期累計 前年比	上期累計 前々年比	10月	11月	12月	10月～12月 前年比	10月～12月 前々年比
ゲーム機・ソフト	134.5	157.3	173.9	150.9	113.7	133.5	125.4
タブレット	117.4	155.9	164.8	178.5	125.9	152.0	151.0
空気清浄機	194.5	224.3	337.7	312.1	226.5	275.4	243.8
炊飯ジャー	85.8	100.9	136.4	119.3	114.7	122.1	96.4
エステ商品	112.7	123.9	118.6	115.9	142.0	128.9	121.9
電子ピアノ	136.1	131.4	267.1	196.6	157.5	192.8	136.7

【その他好調な商品】

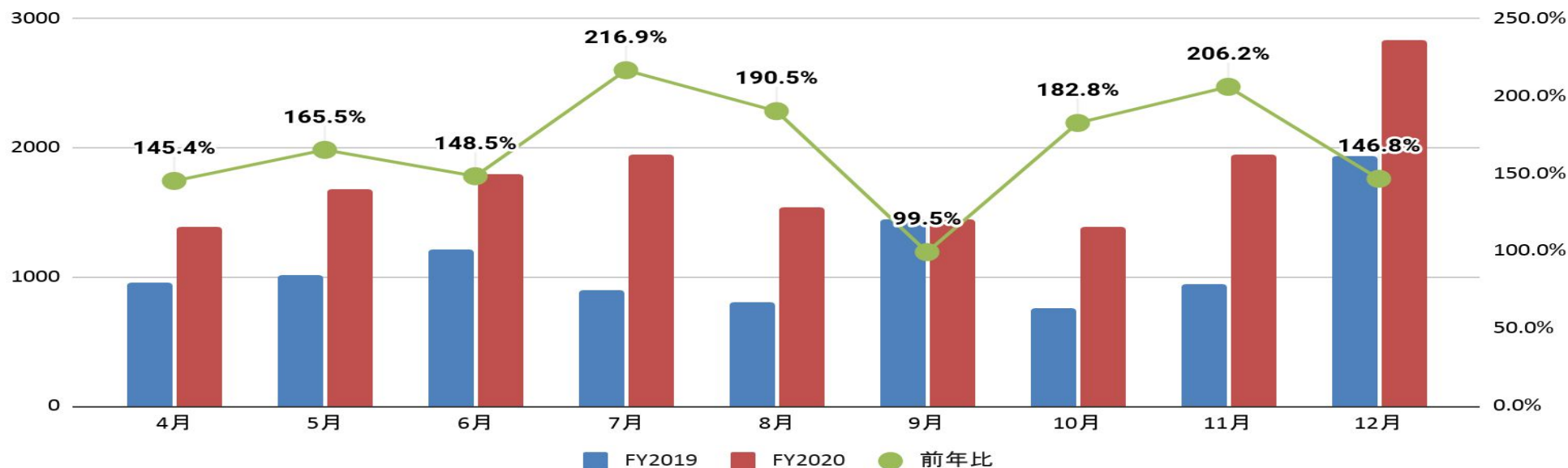
- ゲーム機・ソフトは、「おうち時間」の増加や、GoToトラベル事業の一時停止により帰省等も制限されたことから大きく伸長した。
- タブレットは、大学等のリモート授業の増加に伴うニーズが増加し、パソコンとともに伸長した。
- 空気清浄機は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、家庭内での安心・安全ニーズの拡大に伴い好調が継続している。
- 「おうち時間」増加に伴い、内食ニーズの高まりで炊飯ジャーも伸長した。
- そのほか、在宅での美容ニーズによりエステ商品、娯楽ニーズにより電子ピアノがそれぞれ伸長した。

計上売上(百万円)	FY2019 3Q実績	FY2020 3Q計画	FY2020 3Q実績	前年比	計画比	2020年度通期計画
エディオンネットショップ	9,992	13,300	16,002	160.1%	120.3%	18,000

- 緊急事態宣言による外出自粛や実店舗の休業などにより、ネット利用者が増加し売上高が大きく伸長。
- テレビ、空気清浄機、SIMフリー端末、加湿器、パソコンサプライ品、ヘッドフォン、知育教材、エステ商品
電子ピアノ、加湿器、タブレット、電子レンジ等が大きく伸長。
- 下期に入っても、「おうち時間」の増加や感染症の拡大により、ネットショップの利用は増加している。

(百万円)

EC売上(計上)月別実績



(百万円、%)

商品分類	FY2018 3Q	FY2019 3Q	FY2020 3Q	前々年増減	前年増減	前々年比	前年比
AV家電	64,939	70,083	74,525	+9,585	+4,442	114.8%	106.3%
生活家電	244,578	252,056	259,110	+14,532	+7,053	105.9%	102.8%
情報家電	120,866	128,188	124,976	+4,109	△3,212	103.4%	97.5%
住宅設備	33,521	39,866	36,258	+2,737	△3,607	108.2%	91.0%
その他	75,727	77,911	86,418	+10,690	+8,507	114.1%	110.9%
合計	539,633	568,106	581,289	+41,655	+13,183	107.7%	102.3%

●前々年増減内訳

【AV家電】テレビ+114億円、ビデオカメラ△33億円

【生活家電】冷蔵庫+18億円、洗濯機クリーナー+64億円、エアコン△7億円、その他空調+76億円

【情報家電】パソコン+90億円、パソコン関連+26億円、携帯電話△66億円

【その他】ゲーム+64億円、修理工事+7億円

●前年増減内訳

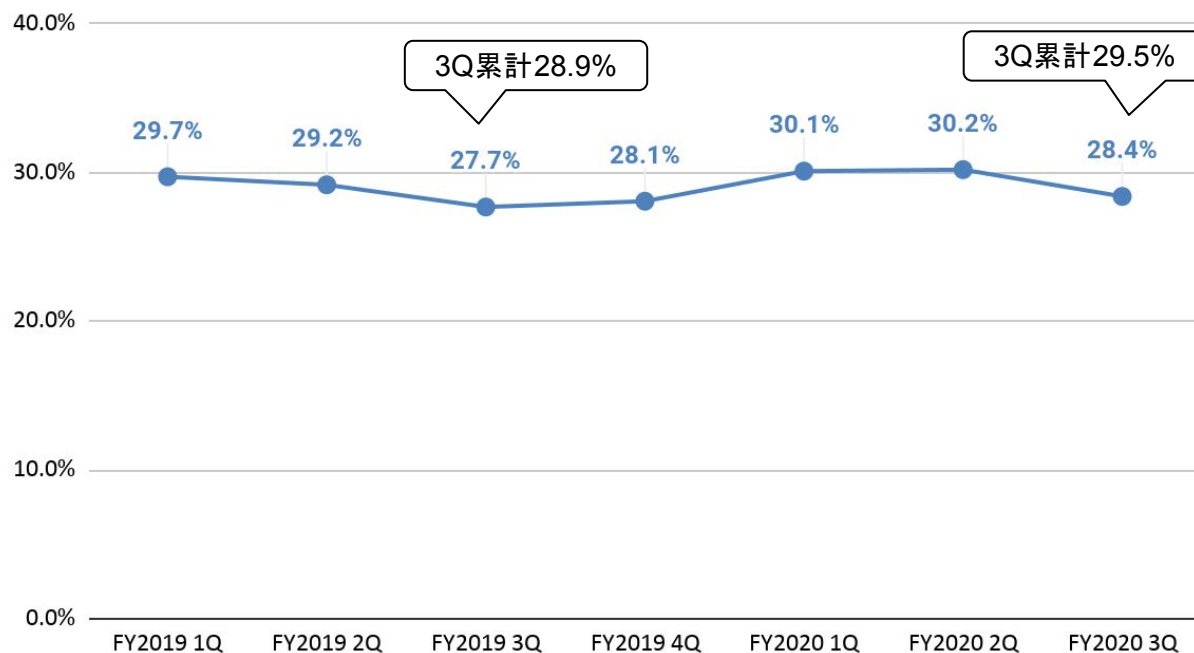
【AV家電】テレビ+57億円、ビデオカメラ△26億円

【生活家電】冷蔵庫△28億円、洗濯機クリーナー+13億円、エアコン+1億円、その他空調+90億円

【情報家電】パソコン+13億円、パソコン関連+29億円、携帯電話△65億円

【その他】ゲーム+56億円、修理工事△2億円

四半期別粗利率推移



構成比(累計)	FY2019 3Q	FY2020 3Q
AV家電	12.3%	12.8%
生活家電(エアコン)	11.4%	11.2%
生活家電(その他)	33.0%	33.4%
情報家電(PC等)	14.3%	14.5%
情報家電(携帯)	8.3%	7.0%
住宅設備	7.0%	6.2%
その他	13.7%	14.9%
	100.0%	100.0%

- 上期から引き続き生活家電に重点を置く施策を継続しており、「巣ごもり需要」もあいまって高粗利商品が牽引した。
- エアコンは、空気清浄機能など高機能商品の販売が好調で、構成比は前年並みであったが粗利率にはプラスに寄与した。
- 旺盛な買い替え需要と「巣ごもり需要」でAV家電(テレビ・ビデオ)の構成比は上昇したが、高単価の有機ELテレビ、大型パネルテレビや長時間録画ビデオが好調で、粗利率にはプラスに寄与した。
- パソコンの構成比も上昇したが、高付加価値のハイスペック型パソコンが好調に推移したことと、「テレワーク需要」によりプリンタ、サプライ商品など高粗利のPC周辺機器が好調に推移し、商品粗利率にはプラスに寄与した。
- 粗利率の水準は 前年同期(28.9%)および3Q累計計画(29.3%)を上回った。
- 業界環境が安定していることに加えて、商品の高付加価値化も粗利率にプラスに寄与した。

百万円	FY2019 3Q		FY2020 3Q				4-12月
	売上比	実績	売上比	実績	前年比	前年増減	計画差額※
販売管理費合計	27.1%	154,063	25.6%	148,668	96.5%	△5,395	△4,103
広告宣伝費・販売費	8.3%	47,199	7.3%	42,317	89.7%	△4,882	△243
(内ポイント販促費)	(2.1%)	(11,730)	(1.4%)	(8,392)	(71.5%)	(△3,338)	(+389)
人件費	10.4%	58,855	10.1%	58,961	100.2%	+105	+405
設備費・管理費	7.0%	39,768	6.8%	39,579	99.5%	△188	△4,037
減価償却費	1.5%	8,240	1.3%	7,810	94.8%	△429	△228

※計画差額: 上期期初計画差額+下期修正計画差額

販管費は全体的に抑制が成功し、前年増減△54億円、計画差額△41億円

●広告宣伝費・販売費

・前年増減は、上期から引き続きチラシや販促イベントを自粛したことと、前年は大型出店や大規模なポイント施策があったことで△48億円。計画比は、期間限定ポイント施策によりポイント販促費が若干超過したが、ポイントの利用も予定より多く売上の増加につながっている。物流費は、売上が計画以上に伸長して変動費が膨らんでいるが、計画内で推移している。

●人件費

・業績連動による賞与の追加や離職者が計画を下回ったことで、計画差額では4億円プラスとなった。

●設備費・管理費

・前年増減は、時短営業による光熱費等の減少で△1.8億円。計画差額は、光熱費の減少や予定されていた既存店改装の見直し等で改装費用も減少し、また引き続き一般管理費の縮減にも努めたことで△40億円となった。

百万円	2019年12月末	2020年3月末	2020年12月末	前期末比	前年同期比
流動資産	164,058	153,296	201,847	+48,551	+37,789
現預金	8,988	15,974	37,197	+21,222	+28,208
売掛金	36,780	33,666	41,890	+8,224	+5,110
たな卸資産	108,043	91,286	110,618	+19,331	+2,574
固定資産	208,555	196,727	193,132	△3,594	△15,422
有形固定資産	141,156	130,891	127,518	△3,372	△13,638
無形固定資産	10,601	10,743	10,662	△81	+60
投資その他	56,797	55,093	54,951	△141	△1,845
総資産	372,613	350,024	394,980	+44,956	+22,366
たな卸資産回転数/年	7.4	7.8	7.7	△0.2	+0.3
総資産回転数/年	2.1	2.1	2.1	+0.0	+0.0

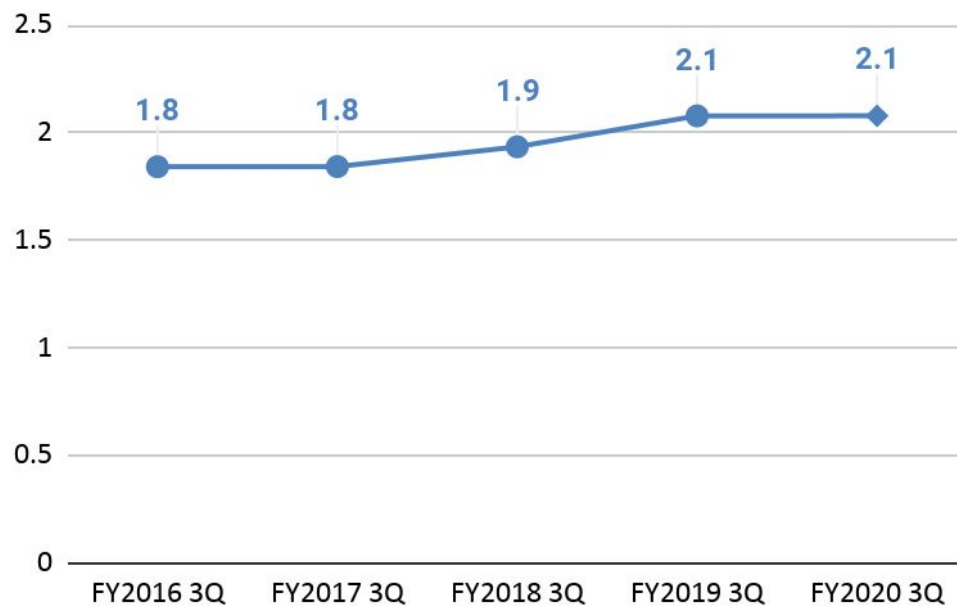
●たな卸資産:前期末は、コロナ禍による影響で調達が停滞した影響もあったが、3Q末では概ね影響は無くなり適正な在庫水準となった。

●有形固定資産:前期に土地の売却等があったため、前年同期比では大きく減少した。

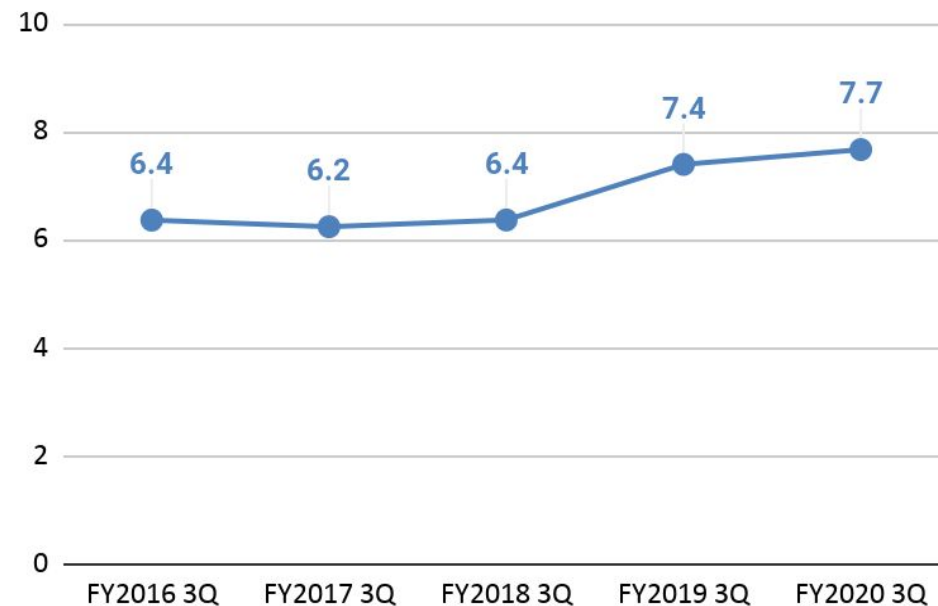
百万円	2019年12月末	2020年3月末	2020年12月末	前期末比	前年同期比
負債	193,385	169,623	203,395	+33,771	+10,009
支払手形買掛金	58,228	34,434	64,314	+29,880	+6,086
短期借入金	1,000	70	30	△40	△970
長期借入・社債	59,181	56,924	54,573	△2,351	△4,608
リース債務	2,426	2,372	2,582	+210	+155
純資産	179,228	180,400	191,585	+11,184	+12,357
自己資本	179,228	180,400	191,585	+11,184	+12,357
有利子負債依存度	16.8%	17.0%	14.5%	△2.5%	△2.3%
自己資本比率	48.1%	51.5%	48.5%	△3.0%	+0.4%
フリーCF	9,922	19,719	27,181	—	+17,259
営業活動CF	22,993	25,278	32,641	—	+9,648
投資活動CF	△13,070	△5,559	△5,703	—	+7,366

- 有利子負債依存度：目標の30%を大きく下回り、継続達成。
- 自己資本比率：目標の40%以上を継続達成。
- フリーCF：営業活動CFが前年同期から大きく増加、投資活動CFも縮小し、フリーCFが大幅改善。

総資産回転数



たな卸資産回転数

**●総資産回転数**

・品薄商品も前倒しで確保を進め、当第3四半期も、前期に引き続き2回転台を維持。

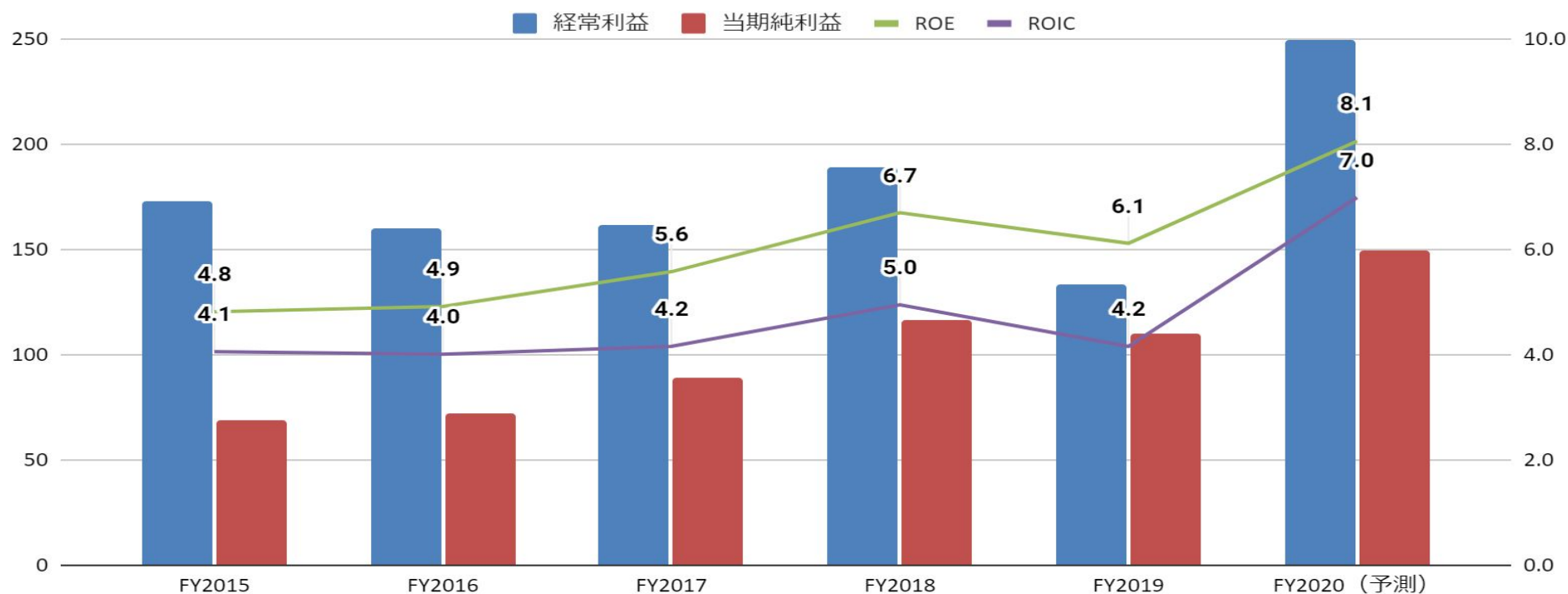
●たな卸資産回転数

・前年を上回り7.7回転と高水準を維持。

百万円・%	2019年度			2020年度		
	売上比	実績	前年比	売上比	計画	前年比
売上高	100.0%	733,575	102.1%	100.0%	760,000	103.6%
売上総利益	28.7%	210,605	100.4%	28.9%	219,488	104.2%
販売管理費	27.0%	198,321	103.3%	25.6%	194,488	98.1%
営業利益	1.7%	12,284	68.8%	3.3%	25,000	203.5%
経常利益	1.8%	13,365	70.8%	3.3%	25,000	187.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5%	10,977	94.3%	2.0%	15,000	136.6%
新規出店数 (直営家電店)	-	6店	-	-	8店	-
移転・建替店数 (直営家電店)	-	3店	-	-	1店	-
設備投資額	-	12,712	92.5%	-	12,779	100.5%
減価償却費	-	11,131	94.8%	-	10,634	95.5%

(億円)

(%)



※繰延税金資産の影響を除外 FY2016 +58億円

※計算式: ROE = 当期純利益 ÷ 平均株主資本 ROIC = 営業利益 × (1 - 実効税率) ÷ (有利子負債 + 株主資本)

2020年11月27日

日本格付研究所(JCR)格付: 長期発行体格付 A- (変更なし)

格付けの見通し 安定的 → ポジティブ(見通し変更)

店舗数増減実績（2020年4月～2020年12月）

	2020年3月	新設	移転・建替	閉鎖	増減	2020年12月
家電店	396	8	1	0	+8	404
非家電店	37	0	0	△1	△1	36
直営店計	433	8	1	△1	+7	440
FC店	751	7	0	△9	△2	749
全店合計	1,184	15	1	△10	+5	1,189
売場面積(FC除く)(㎡)	1,055,359	12,266		△744	+11,522	1,066,881

非家電店…携帯電話専門店、ソフト専門店等

- 新設: JR芦屋駅店、豊田四郷店、ファニチャードーム岡崎大樹寺店、ららぽーと愛知東郷店、茨木藤の里店
イオン原店、イオン岡崎美合店、イズミヤ長岡店
- 移転: シーモール下関店(旧下関店)
- 閉鎖: TSUTAYA安城店
- 計画通りに推移

【10月】

- ・エディオン5G体験スポット開設(10/17～)

【11月】

- ・自宅でロボットプログラミングを学ぶ新サービス「つくロボ」開始(11/1～)
- ・お買上げ店頭展示品および預かり修理品等の 消毒サービスを開始(11/9～)
- ・イオン原店、新規出店(11/19)
- ・イオンタウン岡崎美合店、新規出店(11/27)

【12月】

- ・イズミヤ長岡店、新規出店(12/4)
- ・e angle「レトロインバーター洗濯機」の販売を開始(12/12～)

【主なリリース】

- ・10/01 上新電機株式会社等による営業秘密の不正使用に対する 民事提訴の判決に関するお知らせ
- ・10/13 「エディオン京都四条河原町店(仮称)」のオープンについて
- ・11/09 業績予想の修正および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ
- ・12/17 「全店一斉クリーン活動」実施のお知らせ